

地下から 12 万 5 千年前の“古東京湾”の化石を発見！

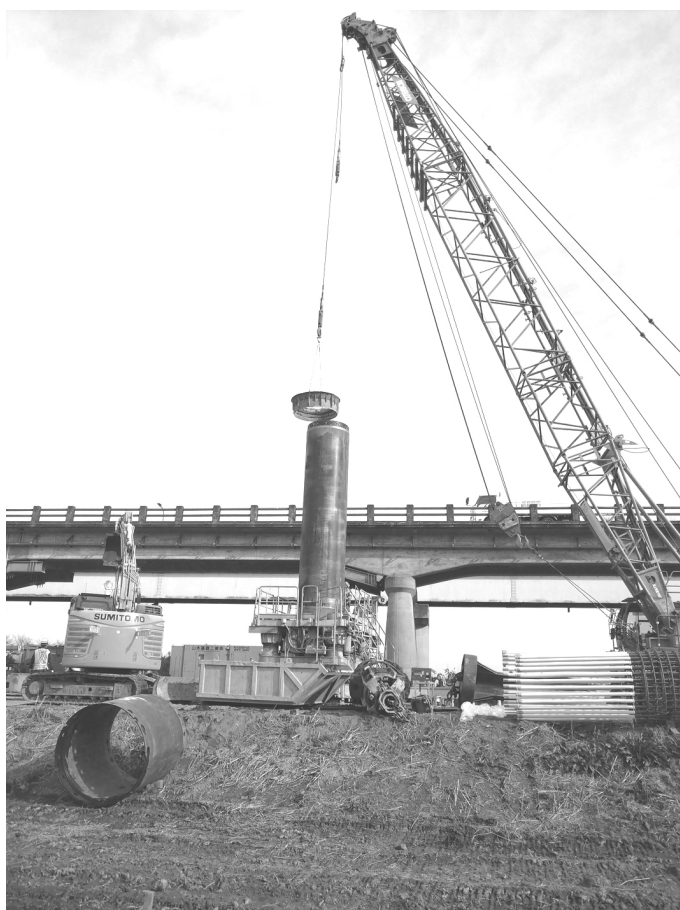
講演会

「県道藤岡乙女線の乙女大橋架け替え工事と地下の地質、発見された化石」

日時：令和 7 年 11 月 26 日（水） 14:00 ～ 16:00

場所：栃木県立博物館 講堂（栃木県宇都宮市睦町 2-2）

- 講演① 乙女大橋架け替え工事の概要について……………丑越勝也氏（栃木県栃木土木事務所）
講演② 地質調査からみえた地盤について……………福田二三也氏（第一測工株）・原澤剛史氏（芙蓉地質株）
講演③ 架け替えられる乙女大橋について（仮）……………小川吉啓氏（株富貴沢建設コンサルタンツ）
講演④ 地下から化石がざくざく、乙女大橋の架け替え工事で発見された古東京湾の化石……………
河野重範氏（栃木県立博物館）



小山市の乙女大橋は、栃木県県土整備部によって架け替え工事が行われています。この工事に伴い、深度 15 m 付近の地層からたくさんの貝化石が発見されました。化石を含む地層は、約 12 万 5 千年前の下末吉海進のものと考えられます。この講演会では、工事の概要、付近の地質、発見された化石とその意義、古環境、古東京湾との関係について学びます。

参加費：無料

参加申込：11 月 23 日までに下記 URL 又は右の QR コードからお申し込みください。

<https://jibankantou.jp/event.html>（地盤工学会関東支部ホームページ内）

問い合わせ先：栃木県立博物館自然課（直通）028-634-1314



主催：栃木県立博物館

共催：栃木県県土整備部技術管理課、栃木県栃木土木事務所、公益社団法人地盤工学会関東支部
栃木県グループ、一般社団法人栃木県地質調査業協会